



—地域に学び、学校生活を楽しむ—

夏休みが終わりました。残暑の厳しい中、夏休みの学習成果物を持ち、登校してくる子供たちに元気をもらっています。夏休みの間は、ご家庭や地域の皆様にご協力をいただきありがとうございました。また、4年ぶりの磯辺地区のお祭りも盛大に開催され子供たちの楽しそうな顔が見られ大変うれしく思いました。

夏休み明けの集会では、各学年の代表児童から「これから頑張りたいこと」の発表がありました。1年生「ひらがなを覚えたので、今度は漢字を頑張りたい」、かもめ学級「げんきキャンプの準備を頑張りたい」、2年生「早起きや、寝る時間を守りたい」、3年生「習字の毛筆や挨拶を頑張りたい」、4年生「クラブ活動や算数を頑張りたい」、5年生「委員会活動やギガタブの活用を頑張りたい」、6年生「陸上大会の練習や学校のリーダーとして下級生に優しくしたい」どの学年の子も、自分の目標をしっかりと持って発表することができ前向きな意欲が感じられ立派でした。目標を自分で決めることで、意欲が高まり学びの効果も大きくなると考えられます。引き続き、皆様の応援とご協力をお願いいたします。後1か月余りで前期末となります。前期のまとめもベストをつくして取り組んでほしいと思います。



☆頑張りたいことの発表の様子

また、9月1日防災の日に、本校では引き渡し訓練を行いました。津波を想定し校舎の3階以上に避難し、その後、教室で待機し保護者の迎えを待ってお子様を引き渡し、下校するまでを想定しての訓練でした。多くの保護者の皆様にご参加いただき、いざというときに備える心の準備をしていただけたことと思います。学校での学習中に災害が起こったときは、この訓練のように対応いたしますが、登下校中や休日の日に、もし起きたらどうするのか。家族で話し合っておいていただきたいと思います。基本は、自分の身は自分で守ることで、学校でも基本は学んでいます。ご家族でも待ち合わせ場所や連絡方法など話し合っておくことも大切です。この機会にあらためて決めておきましょう。

そして、今年度もコミュニティースクールモデル校として、6月に第一回地域教育協議会、7月には、宮城県・長野県の先進的な実践について学校職員、保護者、地域教育協議会の皆さんとともに学ぶ研修を行いました。コミュニティースクールの目的は「地域でどのような子供たちを育てるのか、何を實現していくのか」というビジョンを学校職員、保護者、地域の方々と共有し三者が一体となって子供たちを育てることを目指しています。そのために、三者が情報交換をする場を設ける大切さやボランティア募集の方法について、円滑な連絡方法を確立する必要があることが確認できました。皆様には、子供たちを育てる当事者意識を高めていただくと幸いです。



地域の方々と学年主任の情報交換会の様子

9月も充実した教育活動を推進してまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

